



今月の題字

佐藤 知佳ちゃん
(山田南小3年)

町のわっだい

町内小学校で創立130周年記念事業 伝統と自然を大事にします

船越小学校(英聡子校長・児童222人)と織笠小学校(相模貞一校長・児童108人)、豊間根小学校(濱田宏一校長・児童141人)が本年でそれぞれ創立130周年を迎え、各学校で記念行事が行われました。

10月30日には船越小学校で記念式典が行われ、児童や卒業生など350人が出席。式では英校長が「船越小学校の子供であるという誇りと自覚を持ち、心を新たにして学校生活を送ってください」とあいさつ。感謝状贈呈の後、全校児童による児童発表が行われ、「40年続いた砂の造形大会と親子海岸清掃など、これからも伝統の行事を続け、美しい船越湾と荒神海岸をずっと大事にしていきます」と力強く決意を述べました。また、同日には織笠小学校



で130周年記念学習発表会が開かれ、創作全校劇を上演。同小学校が創立されてから現在までの織笠の人々の暮らしの様子を児童たちが熱演しました。

11月3日には豊間根小学校で記念式典と、豊間根の平井俊栄さん(寶珠院住職)の記念講演が行われました。



「ふるさとCM大賞」審査会 本町が審査員特別賞に輝く

11月26日、岩手朝日テレビ主催の「ふるさとCM大賞」審査会が盛岡市で開催され、県内市町村が30秒のテレビCMで、ふるさと自慢を競い合いました。4回目となる今年は27市町村が参加。本町からは役場総務課で制作した「ここどこ?」を出展しました。作品は飯岡の沼崎正弘さん(64)と孫の平石眞統くん(5)と一緒にハイキングしながら山田の魅力をアピールするものです。結果、本町は審査員特別賞のユーモア賞を受賞。副賞として年間50回、CMが放送されることになりました。なお、審査会の模様は12月23日午後2時から同局で放送されます。

山田漁港周辺のごみを撤去 漁業関係者や高校生ら汗流す

11月12日、境田町の山田漁港船揚場周辺で不法投棄されたごみなどの撤去作業が行われました。山田の海を守る会が「森川海さわやか推進事業」として実施したもので、山田湾漁協組合員や漁船団員、山田高校ポート部と野球部の生徒ら50人が参加。早朝から夕方までの作業で100本近くのタイヤ、冷蔵庫、テレビなどを収集したほか、木造廃船5隻は重機を使って解体しました。皆さんの協力により漁港周辺は見違えるほどにきれいになりました。

